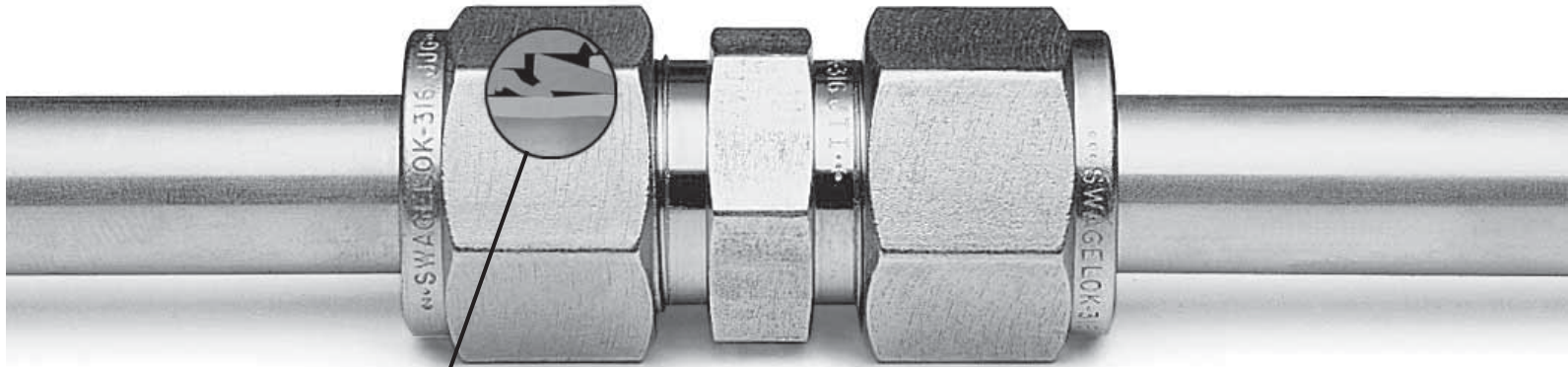
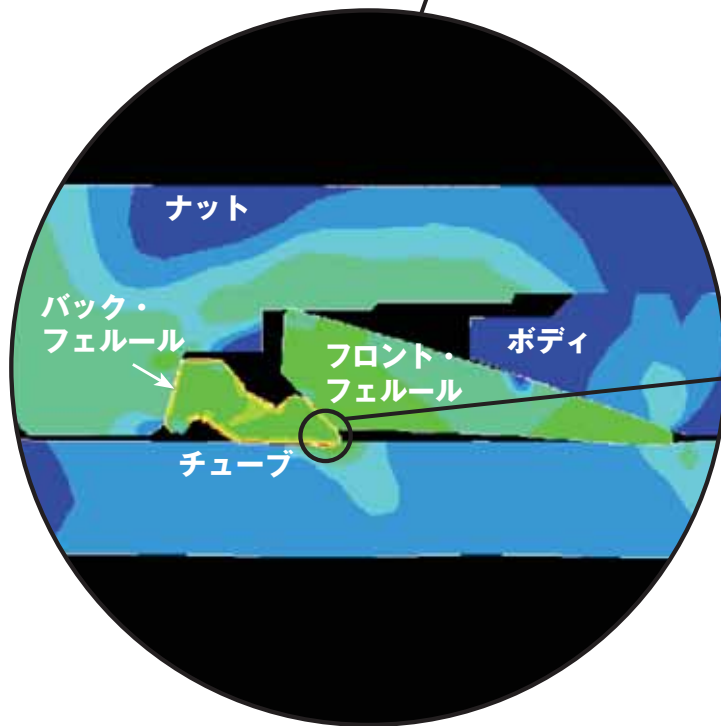


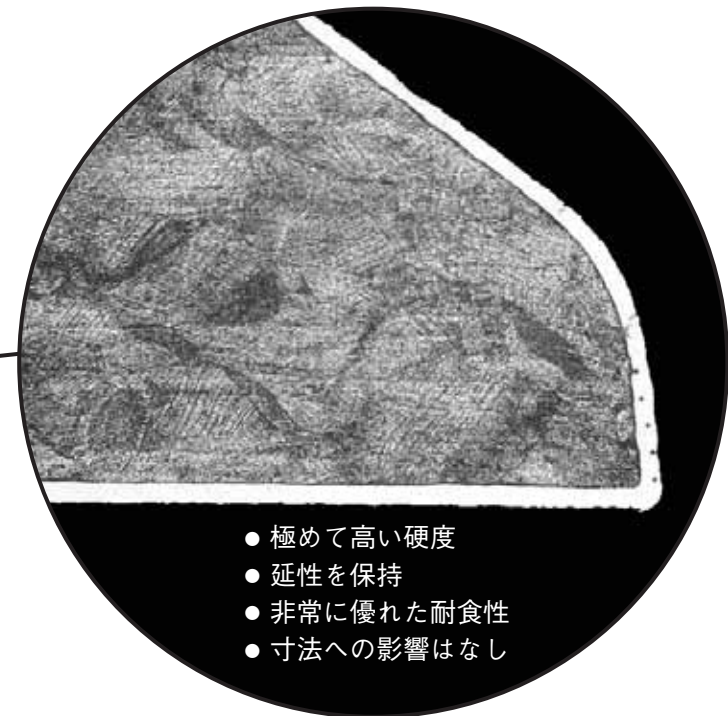
# Swagelok®チューブ継手の利点



SAT12<sup>SM</sup> 表面硬化処理 (特許)



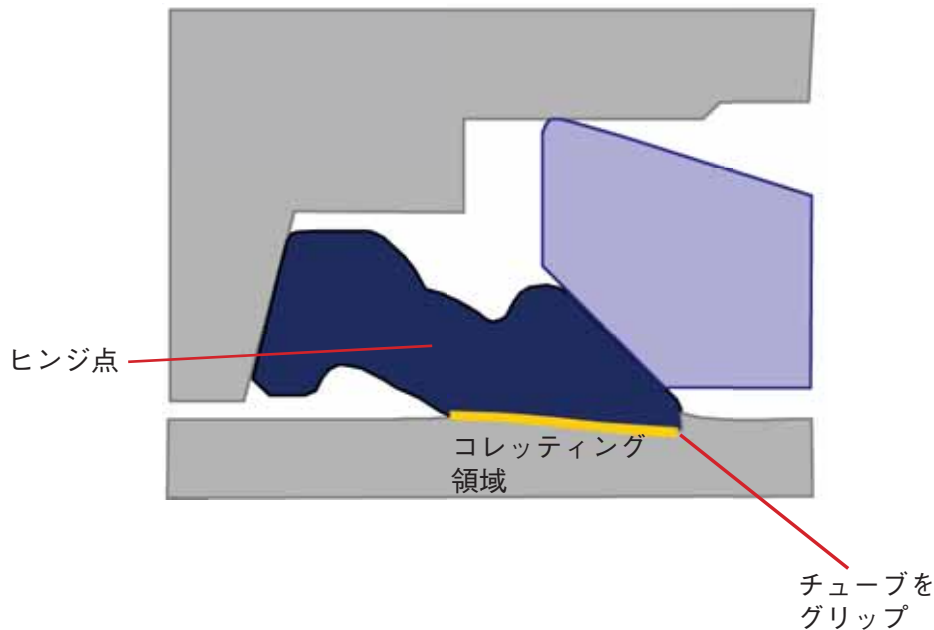
有限要素法解析 (FEA)



# Swagelok 特許バック・フェルール構造

## チューブ・グリップ力

- 独自のヒンジ・コレット機能により、チューブへの密着性やグリップ性能が向上

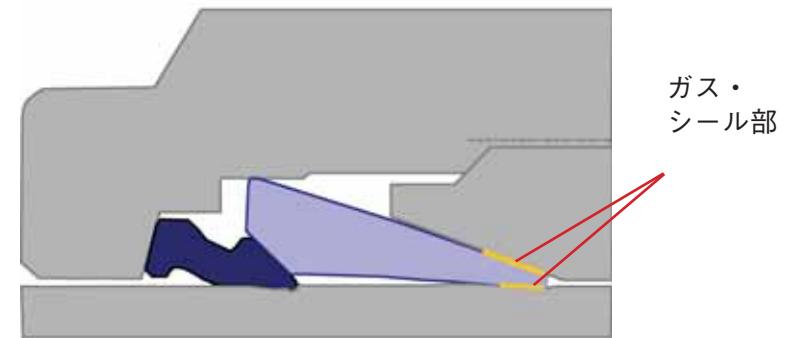


## 耐振性

- この広い範囲でのコレット機能により、より効果的にシステムの振動によるチューブ・グリップ部の応力上昇を分散

## ガス・シール性

- 研磨作用により、集中的に確実な気密性を保持する広いシール面を形成



設計における数々の特徴が相互に作用して生まれる Swagelok チューブ継手の卓越した性能

- Swagelok 特許バック・フェルール構造により、ヒンジ・コレット機能が生まれ、Swagelok チューブ継手の下記の3要素における卓越した性能が実現
  - チューブ・グリップ力
  - ガス・シール性
  - 耐振性
- バック・フェールの SAT12 表面硬化処理（特許）、厳しい管理により実現した一連の動作による締め付け、優れた構造により、チューブ継手の各コンポーネントはアセンブリーの際に相互に調和して系統的に機能します。

この日本語版カードは、英語版カードの内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。